

反骨の画人



広島を愛した

《とらん》 個人蔵

特別展

浜崎左髪子

2023(令和5)年10月17日(火)~12月3日(日)

開館時間：11時~17時 会期中の休館日：毎週月曜日

観覧料：一般/500(400)円、学生/250(200)円、中学生以下/無料 ()内は10名以上の団体料金

主催 公益財団法人泉美術館、中国新聞社

後援 広島県教育委員会、広島市、広島市教育委員会、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz

協力 学校法人広陵学園、城田製作所、田中電機工業、浜本工芸、平安堂梅坪、宮島御砂焼 対厳堂、山一別館

公益財団法人

泉美術館

〒733-0833 広島市西区商工センター2-3-1 エクセル本店5階
TEL 082-276-2600 FAX 082-276-2612
<https://izumi-museum.jp/>

HAMASAKI SAHATSUSHI

特別展 浜崎左髪子

広島を愛した反骨の画人



1

戦前戦後を通じて、広島美術動向の中で重要な足跡を残した画家・浜崎左髪子(はまさき・さはつし)の全貌にせまる展覧会を開催します。

浜崎左髪子(本名・稔明)は、1912(明治45)年、アメリカ合衆国ハワイ・ヒロ市に生まれました。間もなく広島に帰国し、広陵中学校在学中は美術部で活躍します。1931(昭和6)年に同校を卒業、伊藤篤城に師事して南画を志します。初期には香浦、1935(同10)年から左髪子と号しました。中央美術展、日本南画院展、新文展などにも入選を重ね、頭角を現します。また、戦時中は1939(同14)年と1944(同19)年の二度出兵、中国戦線に赴きました。

1946(同21)年に帰国、戦後は日本美術院展や新協美術展、日本表現派展などに作品を発表するとともに、広島県美術展の審査員を第一回展から務めます。また、広島の地元企業や料亭、店舗などのトータルデザイン、広島の小話などをモチーフとした小型絵馬の制作、陶器の絵付け、エッセイ執筆などを幅広く手がけ、マルチクリエイターとしてその才能をいかんなく発揮しました。人間社会の不条理をテーマにした大作、数多く書かれた世評などからは、画家の鋭い観察眼と反骨精神がうかがえます。

本展覧会は、画家の全体像を紹介する初の回顧展です。新しく発見された初期作品や円熟期の大作、画家の体温が感じられるような素描の数々、絵馬や陶器などの多彩な小品、各種商業デザインの成果物など、約150点を一堂に公開します。



4



2



3



6



7



8



5

- 1.《鷹図》1933(昭和8)年頃 個人蔵
- 2.《厳島風景》1966(昭和41)年 個人蔵
- 3.《果蔬図》1935(昭和10)年 原爆の凶丸木美術館
- 4.《ただの酒》1981(昭和56)年 蘭島閣美術館
- 5.《菊》山一別館
- 6.《廢船》1964(昭和39)年頃 学校法人広陵学園
- 7.《かれい》1965(昭和40)年 田中電機工業
- 8.《鎮火護持 火魔退散》城田製作所

会期内イベント

スペシャルトーク

「浜崎左髪子のこと」

講師：田谷行平(画家、新協美術会理事)

11月12日(日) 14:00～

場所：泉美術館展示室

参加希望者申込み制(20名)

※申し込みなど、詳細は美術館にお問い合わせください。

当館学芸員によるギャラリートーク

10月28日(土)、11月25日(土)

各回 14:00～

講師：当館学芸員

※ 展覧会チケットが必要です



アクセス

- JR山陽本線「新井口」駅より徒歩約15分
- 広電宮島線「草津南」駅より徒歩約10分
- 駐車場無料 (エクセル本店駐車場をご利用ください)

公益財団法人

泉美術館

〒733-0833 広島市西区商工センター2-3-1 エクセル本店5階

TEL: 082-276-2600 FAX: 082-276-2612

<https://www.izumi-museum.jp/>

